

製品名: FGF18 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00517**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 24 kDa; Observed MW: 28 kDa

抗原情報

遺伝子名	FGF18
別名	FGF18; Fibroblast growth factor 18; FGF-18; zFGF5
遺伝子 ID	8817
SwissProt ID	O76093
免疫原	抗血清はヒト FGF18 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 158-207

背景

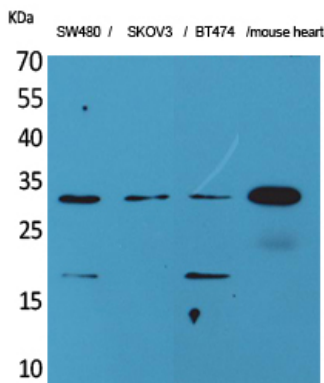
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、線維芽細胞増殖因子 (FGF) ファミリーのメンバーです。FGF ファミリーのメンバー

は、広範な細胞分裂促進作用および細胞生存活性を有し、胚発生、細胞増殖、形態形成、組織修復、腫瘍増殖、浸潤など、様々な生物学的プロセスに関与しています。in vitro 試験において、このタンパク質は PC12 細胞において神経突起伸展を誘導することが示されています。マウスおよびニワトリにおける類似タンパク質の研究から、このタンパク質は多面的成長因子であり、多くの組織、特に肝臓および小脳の増殖を刺激することが示唆されました。マウスにおける類似遺伝子のノックアウト研究では、このタンパク質が小脳正中線構造の増殖と分化を制御する役割を担っていることが示唆されました。

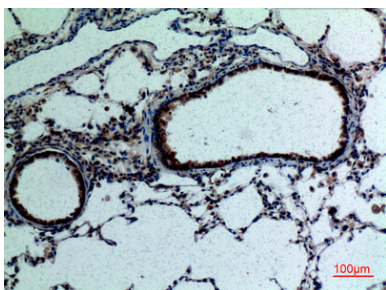
研究分野

シグナル伝達

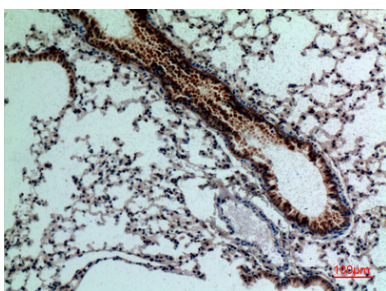
画像データ



FGF18 抗体を使用した、SW480、SKOV-3、BT474、マウス心臓溶解物中の FGF18 のウエスタンブロット分析。



FGF18 抗体を使用したパラフィン包埋ラット肺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



FGF18 抗体を用いたパラフィン包埋マウス肺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。